

家族でインフルエンザを予防しよう

ドクターズコンテンツシリーズ#9

インフルエンザの基礎知識

インフルエンザとは何か

「インフルエンザウイルス」が原因の感染症です。

【主な特徴】

- ・伝染力がとても強い
- ・症状が激しく、重症化しやすい
- ・幼児、高齢者は合併症を併発する恐れがある

主な症状

- ・突然、**38度以上**の高熱がでる。(鼻水や、咳(せき)などの前触れがほとんど無い)
- ・頭痛、関節痛、筋肉痛、全身に倦怠感がでる。

インフルエンザの感染経路



① 飛沫(ひまつ)感染

「せき」や「くしゃみ」でばらまかれたウイルスが、口から体内に侵入し感染する。



② 接触感染

モノやヒトに付着したウイルスを手で触ってしまい、体内(口、鼻、目など)に侵入して感染する。

インフルエンザを予防しよう

インフルエンザを予防するには？



できれば**流行前に**、インフルエンザワクチンを接種しよう
ワクチンを接種していれば、もしインフルエンザに感染しても重症化になりにくい効果があります。

家族で予防しよう



お子さんだけでなく、ご家族全員で予防接種を受けることで、さらに予防効果が高まります。
家族全員で、インフルエンザを予防しましょう。



Doctor

平木こどもクリニック

平木 洋子先生

インフルエンザにひそむ危険

インフルエンザに感染したら使ってはいけない解熱剤があります



インフルエンザに感染してしまったら、安易な解熱剤の使用はやめましょう。解熱剤の種類によっては、合併症を引き起こす危険があります。

15歳未満のインフルエンザ患者が使ってはいけない解熱剤

- ① サリチル酸……………(商品名：アスピリン、パファリンなど)
- ② ジクロフェナクナトリウム……………(商品名：ボルタレンなど)
- ③ メフェナム酸……………(商品名：ポンタールなど)



これらの成分は、合併症を引き起こす恐れがあります。

また、もしインフルエンザ脳炎を発症した場合には重症化の可能性があります。

※このほか一部の市販薬にも、15歳未満の小児に対し原則的に使用すべきでない成分を含んだものもあります。

解熱剤は、医師の指導のもとで正しく利用しましょう。

インフルエンザの出席停止期間

確認しよう！

インフルエンザによる「出席停止期間」



発症した後**5日**を経過し、かつ**解熱**した後、
幼児は3日、児童は2日を経過するまで登園・登校はできません。(平成24年4月に学校保健法が改正され、出席停止期間が変更されました。)

出席停止期間を守り、感染の拡大を防ぎましょう

ドクターからの子ども健康アドバイス「健康応援団」

サイトでは様々な症例をご紹介します。

この他にも…

- ・感染が疑わしい時の対処
- ・家族感染を防ぐ9つの工夫
- ・症状を楽にするために家庭でできる4つのこと…など。

アイチケット 広場

パソコンから <http://park.paa.jp/pc/>

スマホから <http://park.paa.jp/sp/>

ケータイから <http://park.paa.jp/m/>